



編集・発行/五島市議会広報特別委員会 五島市福江町1番1号 TEL.0959-72-7923



市政を問う(一般質問-)	$P2 \sim P11$
特別委員会設置	P11
6月定例会補正予算の審査	P12
第3回臨時会	P13
永年勤続議員表彰	P14
議会運営委員会行政調査	P14
編集後記	P14

高浜海水浴場(三井楽町)海開き 平成21年7月11日



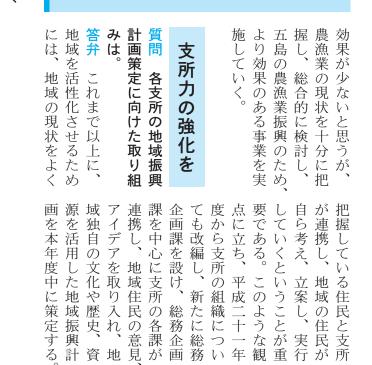
特例による91人の五島市議会を除くと、今定 例会が最高の18人の登壇となり活発な論議が 展開された。(議員写真は西日本新聞社提供です。)

輸送費の助成を

事業を実施

農漁業振興につながる

谷	質 問	気	`	対	れ	費	な	弁	义	分	妨	ま	望	物	Z	l	すし	除す、
問	域	策と	域活	臨時	が、	対 し	のか	本市	上で	かか	とな	も県	行 っ	輸送	いて	必要	ある	
答	景	τ	性化・	付	水	の		農	Ŀ	Z	T	玉	き	に	`	あ	度	,
	浮	付 さ	経済	が交	物の	成 が		業振	送費	は大	り、	支援	。 農	する	急に	場合	期間	t l
	•	れ	危	付	輸	で		興	が	き	Z	\mathcal{O}	水	助	助	を	•	Ľ.





福江青果卸売市場

雇

旧創出

I を 目 市 に

的として平

本

お 61 ては、

富江地区女亀市道

施設設計については、

借

(十七年度から三ヵ

年

観 事

義塾大学との連携による

地域起業家養成研修」

ケージ事業」、さらに慶応

(施している「広域パッ 年度から三ヵ年計画

Ć



Ŋ ある。 起業化を加速させるため いる方と起業化に向けた 支援制度の創設が必要で で、 講座を受講された方の中 を本年度から実施してお るなど、一定の成果はあ 成 われているが、さらに (講座を開催している。 NPO法人を設立す 起業化等へ向けた育 現在、 受講されて



しま自慢観光人材カレッジ受講風景	けはい有き答て賃ま把光き 、、な無下弁いのた握客下 平燃いにげ る値、はのげ	問題とい設し、体
く的るるの国く人引採チるの。。にがよ支、寄口き用ャバスの、「「「「」」では、「」の下して、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では	成 油の に 高 の 下 五 で 入 に 高 の 下 島 ご り よ 速 道 ホ 高 離 島 に え る 近 で 入 に あ 。 の 下 島 で 入 に ま か ご し 器 の 下 島 で 入 に 	 高速道路料金

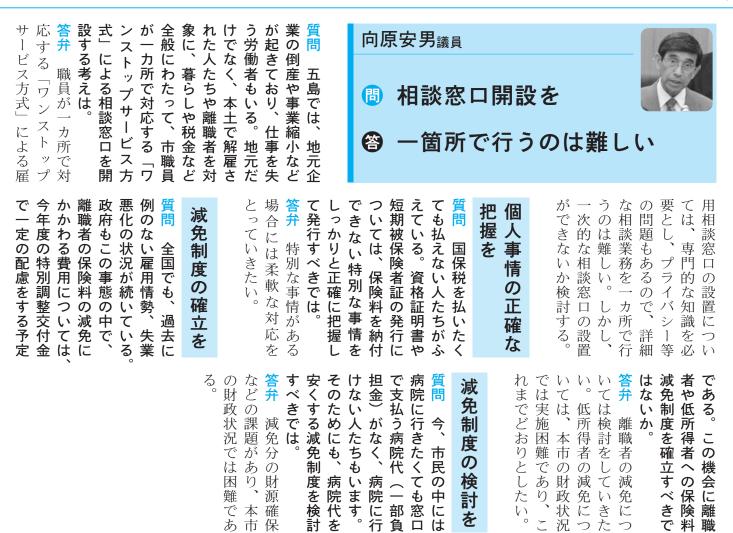




ので、 るなど検討していきたい。 置につい と思っている。 営上、有益な機器である 向上につながり、 とになれば、漁業生産の るとのことで、 燃料消費の削減効果があ ことから、燃料改質器は 状況にある。このような 嫁ができにくい面がある は、 答弁 質問 目安としながら対応して 協議をしているとのこと の負担軽減が図られるこ 合が高く、 トを行っては。 る燃費向上比較航行テス の交通船及び漁船等によ いきたい。 であるので、 設 船舶用燃料 調査や漁協等と協議す 置 燃油経費の占める割 を 漁業経営は厳し 漁業分野において 船 ては、 舶 販売価格に 用燃料改質器 整備基準を 改質器 燃油経費 試験的 導入事例 漁業経 の 設 転 61

を。

を図るための起業家養成



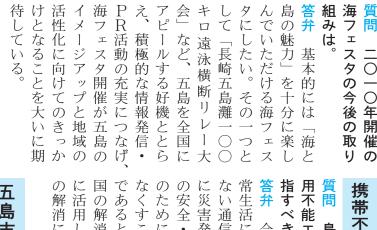
病院に行

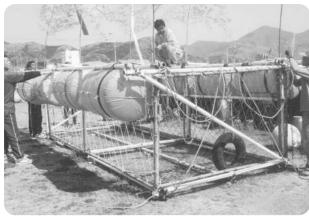
病院代を

杮ネ	≹ 誌 議員	A
đ	海フェスタの今後の 取り組みは	
答	五島を全国にアピール	したい

0

を





であ 本市 確保

危険防止のための洋上プール

きたい。

歌の普及啓発に努めて 協力をいただきながら市

5

社会福祉

山北協議,

会などの

御

奏楽部、

市内の合唱団、 五島高校

福江 答弁

商店街、

吹

今後も福江空港、

図るべきでは。

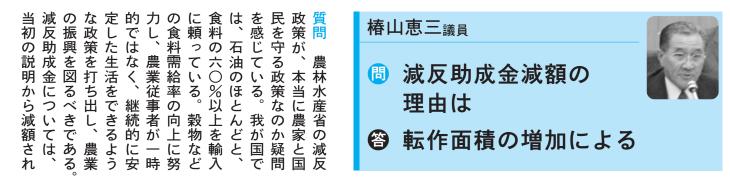
質問 五島市歌の普及を	五島市歌の普及を	解消に努めた	し、使用不能地	の解消施策等も積	あると認識している	くすことは重要な	ために携帯不通地域	安全・安心な生活確	災害発生時など、	い通信手段であり、	生活に欠くこ	今や携帯電話は	べきでは。	エリ	質問島内の携帯電話使	携帯不通地域解消を

月小



とけ行二終第討残目がる定答化ま質 こて政十計一中り、出七の 弁へた問	中村康弘議員
ろ取改二画次。の七て十行の業 でり革年年行平十六い二政平 取務行 あ組大度度政成七%る項改成 りの財 るみ綱かに改二項のの目革十 組精政	🖲 行財政改革の推進を
。 をの ら な 本 十 目 進 は に 大 七 み 査 改 二 十 目 進 は に 大 七 み 査 改 二 十 日 進 広 式 綱 年 は 、 ズ の っ て 綱 年 は よ 、 ズ の 。 、 の 。 、 の 、 、 の し に 十 。 、 の し に 十 。 、 の 、 、 の し に 十 。 、 の 、 、 の し に 十 。 、 の の し に 十 。 。 、 の の の の の 、 の の し に 十 。 、 の の の の し に 十 。 こ の の の し に 十 。 こ ろ の の し に 十 、 つ の つ 、 つ の ら 、 つ ら 、 つ の ら 、 つ の し に 一 、 つ の し に う 、 の の し に う 、 つ の し に う 、 の の の し に う つ し に う つ の し こ つ の し こ つ の し こ つ の の し に う し に う し こ つ の こ つ の し こ つ の う し に う つ こ つ の つ こ つ の つ こ つ つ こ つ つ こ つ つ こ つ つ つ つ つ つ こ つ つ こ つ こ つ つ こ つ つ こ つ つ こ つ つ こ つ つ こ つ つ こ つ こ つ こ こ つ つ	⑦ 第二次行革大綱策定 に向け取り組む

交震化の	中学交で平成二十二年九学校で平成二十二年九月
い 況 て と	する計画とな約更新時に合
きでは。また、教	る。
用パソコンの配置状	
弁 耐震化の状況は 今後の予定は。	安全な道づくりを
一日現在、全棟数百	質問 安全な道づく
三棟のうち、昭和五	との執務回
年以降に建設された	
四棟、昭和五十六年	
に建設され、二十年	
でに耐震診断事業を	
し、耐震性があるも	
規模改造事業とあわ	
て耐震補強事業を完了し	道、丸木地区魚市方面道
ものが二十五棟あり	
震化率三九・八%	
っている。福江小学	
校舎は昭和三十三	
三十八年に、福江中	
の校舎は昭和四十六	
十七年と昭和五十	
十六年に建設され、	
の改築計画につい	
年度の耐震二次診断	
果で、補強工事か	
を検討したい。	
また、教職員用パ	
は、四月現在三百九	は
百九十	
配置されている。教	



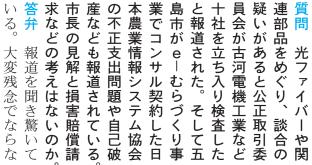
こで、 制度の説明を行 るようなことがあれば、 今後も減額された農家の Ŋ 年度当初予定した金額 前の固定単価とは違い が、 5 してもらうように 方が不信感を抱かれてい 説明会で周知しているが、 \mathcal{O} 金される場合がある。 で決定しているので、 算で調整するように地域 より交付金 内で各農家へ交付するシ され、この交付金の範 当 転 声 て支給されるとの農家の なった年度には、 ステムになっている。 による実績払いであった ついての説明を。 「初に交付金の額が決定 きたい。 制度については、 減額されて各農家へ入 作補助金は、 があるが、その経緯に 現在の対策では 転作面積の増加 平成十六年以 が足りなく 固定単 い に努めて 技術 集 落 6年度 理解 前 い 2 そ Ĵ 従 加 に 囲 価 \mathcal{O}

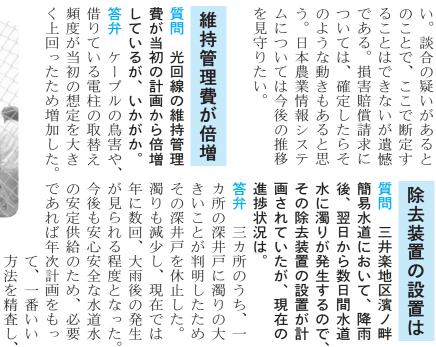
> いは、 品券の利用期間について 発注、 臨時議会において関係予 の後、 答 弁 発行の運びとなっ の作業を進め、 算が可決され、 業の詳細を決定した。 プレミアム商品券発行 る実行委員会を開催し、 商工会及び本市で 福江商工会議所、 至るまでの経緯は。 の発行について、 質問 ブ (こ る。 十月末までとなって ついて レミア 取扱店の募集など 五月十五日開催 四月二十四日 プレミアム商品券 L 六月十 制作物の 商 発行に し構成す た。 五島 品 に、 そ 券 商 日 \mathcal{O} 事 市



五島市つばき商品 券

草野久幸議員 賠償請求を 問 今後の推移を見守りたい 答







京ノ嶽水源地(三井楽町)

行っていく。 施設の整備

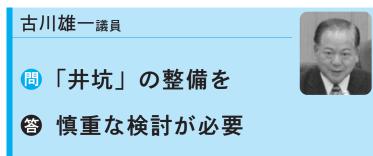
を

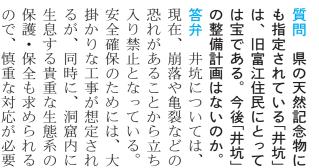
積 業 中 路 な 圏 事 市 <mark>答 る 極 力 雇 な が</mark> 極 活 で を ど に 業 販 弁 が 的 の 用 る 施	菊谷岩雄議員
 な取り な転大プロデュース をを実施して、 して、 して、 して、 しし、 が しし、 「メイドイン五島 「ス 一 一 一 「ス 「ス	 問 農(水)商工連携事業 への取り組みは ・ ・<

としている。 ある九十五人を雇用目標 その参加者の約二〇%で 上五島町での三ヵ年のセ 雇用の実績は、目標の十て九十三人が参加した。 は、 施した。本市の受講者数 答弁 五十八人と設定しており、 ミナー参加予定者数四百 が確保された。本市と新 人に対し、十六人の雇用 など七つのセミナーを実 ミナー」、「民泊セミナー」 育成」、「大司教区公認オ 創出の根拠は。 た三年で九十五人の雇用 捗状況と参加者数は。ま のパッケージ事業」の進 きと提案した。「雇用創造 島としての考えに立ち、 ζ 質問 フィシャルガイド養成セ 起業家への支援もあるべ 起業家への支援を 目標七十七人に対し 昨年九月定例会で、 昨年は「IT人材 起業家支援につい

ていく。 上げ、関係事業を展開し 情になる。 子守唄は心を癒し、自分 答弁 質問 支援推進協議会」を立ち もあってもいいと思うが。 援事業等、優しい支援策 ついては、「五島市子育て いく。また子育て支援に にも、他人にも優しい心 イベント等展開してきた。 た子育て世帯、買い物応 づくり事業について。ま 優しい支援事業を 子守唄の普及活動、 子守唄の流れる島 今後も続けて







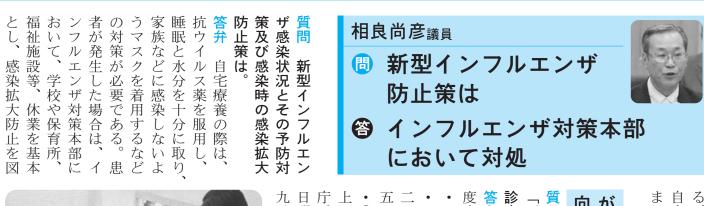
ては、 地区

耕作放棄地への椿



現在の井坑入口(富江町)

地区の耕作放棄地につい	考えである。また、この	し、計画的に実施したい	を行い、植栽適地を選定	地についても、現地調査	ている。横峰地区の市有	椿の植栽を積極的に進め	き振興計画」を策定し、	答弁現在、「五島市つば	ないのか。	だと思うが、植栽計画は	椿二十万本の植栽が可能	区は景観が絶景であり、	質問 旧富江町の横峰地	植素さ	山土口(木	黄峰也区こ春の		ていきたい。	の指導をいただき検討し
ない。	の漁獲に対する規制等は	るものであるが、マグロ	大・中型まき網漁業によ	の6割は国が許可する	漁獲されており、漁獲量	はえ縄、ひき縄等により	答弁 マグロは、まき網、	規制はできないのか。	質問 産卵マグロの保護	ロの代討夫律	ブコワ呆隻見		植栽を推進していきたい。	作業補助金等を活用して、	ついては、県の森林保育	植栽推進を図る。原野に	であり、事業を活用した	業の実施に向けて検討中	とから、引き続き補助事



AY 1 MAR	(問 五島市における (問 五島市における (問 五島市における () () () () () () () () () () () () ()	问上を かん検診の受診率	うでは規制しない。う。集会やイベント等の
がん検診	日、、本向六診二一六年 受る	-	るの

中 態 者 な で は 状 た い 要 希 し さ 📩 🔤	新認定 制度 に とって は っ て は た 新認定 制度 で 制度 で れ る と の 批 判 や 、 況 に こ れ る と の 批 判 や 、 況 に こ れ る と の 批 判 や 、 、 れ る と の 批 判 や 、 、 、 本 た 新 認 定 制 度 で れ 志 た 新 認 定 制 度 で れ 志 た 新 認 定 に 、 か 新 認 定 に 、 新 認 定 に 、 新 認 定 に 、 新 認 定 に 、 新 認 定 に 、 新 認 定 に 、 新 認 定 に 、 新 認 定 に 、 新 認 定 に 、 れ ま で に 、 む に 、 む に 、 れ ま で に 、 む た 、 新 認 定 に れ ま で に 、 む た 、 れ ま で の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	 注川美津子議員 ● 新認定制度は 中止すべきでは ● 制度に従った取り扱いを行う
	ん 実 用 異 の 合 定 れ と の ` 直 定 は 中 態 者 な で は 状 た い 要 希 し さ `	

止すべきだと考えるが。

	策路、一番下の階段は土質問 大瀬崎燈台への散	散策路の整備を	。った	なくすための改正な	るデータを更	間をより正確に反映今回の改正に一介護	口の女王は、「養」ていない。	度による判定結果は	う結果になっている。新八十一人が変化なしとい	の六十一人を含め、	人の中で、経過措置適用要があるとした二百十四	十九件。経過措置の	弁 対象の件数は二
大瀬崎灯台の階段(玉之浦町) るとなのの増いる。 る、協会ので見が、単一のでも、 る、協会のでは、 の、 ため、 の、	対応について内:	月曜日も利用できないのポーツ振興係が移動した。 質問 市民体育館にス	市民体育館の利用を	要望する。	ついては、海上保安庁へを進めていく。防護壁に	で補修する方向で	必要である。階段に	所有地なので協	弁 二カ所とも 整備が必要では	険な状態である。管	冊 、 も 燈	ができている。	流され五十から





県営林道翁頭線

画している。	
級食用油として販売を計	が図られる。
認事業の採択を受け、高	になり、森林の適正管理
と農」支援事業・知事特	林整備全般に作業が容易
目指し、県のながさき「食	活用することにより、森
つばき油のブランド化を	と協議中である。林道を
みを行うこととしている。	坂線を実施できるよう県
までに五十haの取り組	県営事業基幹道路南部憩
二十年度から二十三年度	る。また二十二年度から
棄地への植栽については、	う関係機関と協議中であ
部を立ち上げた。耕作放	での延長を実施できるよ
活かした重点施策推進本	成予定で、奥
係各課の連携による椿を	頭線は、平成二十二年度
画」を策定。四月には関	っている。県
月に「五島つばき振興計	在ha当たり五・一mと
答弁 本市では、本年三	密度は、平成十九年度現
算検討はされているか。	答弁 五島市管内の林道
	められているのでは。
棄地への椿植栽事業、つ	林務普及指導の強化が求
産計画について、耕作放	業全般の山林所有者への
き祭りの状況、椿製油生	。 更に、
椿の存在について、つば	施計画への取り組みが重
の重要性がある。観賞用	計画の設
る自生林の保護管理事業	五島市の基幹林道必要箇
代表として多くの椿があ	事業推進状況は。また、
きい。久賀島の原始林を	浦地区までの取り組み、
は自生つばきの存在が大	今後の継続事業として奥
ついて、五島椿の現状に	況と完成見込みの確認、
質問 つばき振興計画に	県営林道翁頭線の進捗状
取り組みは	必要
しまれり言言	は最低で、新たな事業枠
つばき辰興計画の	質問林道密度は県内で



の 階三間	— 佃 但 八 議員
不 が に 階 自 な あ 建 富	100
由 い る て 江 な た が で 町	🐻 エレベーターの設置を 🎆
人 め 、、民 に 高 エ ホ セ は 齢 レ ー ン	😵 設置の方向で検討している
不者ベルタ	



т レ

ベーター

たい。

の 事

Ľ

富江町民センタ

チャ が、 るのか。 うことによって、 る点は。 聴したが周りの評判は好 務にどのような効果があ 評である。自主制作番組 づくりで念頭に置いてい 質問 自 主 の また、 ポ 、制度などの説明を行 採択され次第、 さまざまな番組を視 け努めていきたい。 時点では不明である ンネル放送が開 制作番組 イント 昨年九月に、 職員が直接出演 は づくり 通常業 が始さ 設置 五島 る。 ている。 いるか、 子供 で広報の迅速さ、 0) け多くの市民に登場して 偏りがないか、できるだ 提供の場でもあるので、 Ć 61 いただくなどの配慮をし かりやすい番組となって また、 影響については、 からお年寄りまでわ 内容に地域的な 出

演する職員

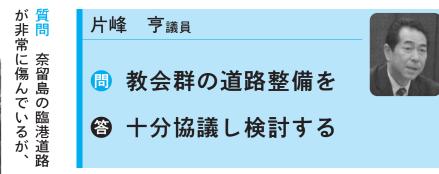
 \sim

は現

多くの市民に対する情

報

後とも職員が業務の説 る意識が変わってきて に知らせる必要があるの 的に広げるためにも、 わかりやすさなどに対 制度や仕組みを、 そうした意識を全庁 業務説明をすること を行ってい た番組づく 体制を活用 をするという 説明 新し 市 今 Ŋ す \mathcal{O} き l 明 61 民



密にし、 るため、

ら五島間のま

航関 路、

する対策調

査

本土

か \mathcal{O}

関

連

施設

の

整備

拡

充に関する対策調

五島沿岸航路及び

を進めて

が、

は、

答 弁

置

りのためにスロー

の ド

垣が急なため、日時、「「」の「一」の「二」であった。

備

補修



 ボ車のは、 市 車のは、 市 <li< th=""><th></th></li<>	
重要な幹線道路であ	金アップはでき
し、准寺管里の要め、支所との連携	者效斉、早切
めていく。	けて引き続き、害者救済、早期
は、見当れ、巡し	金の曽頂についても働きかけていく
の高齢化に伴い、	動状況や計画を踏
増えて苦労して	検 討 す
会関係者及び地区住民のは十分承知している。	成人式を正月休み
調査検討 工法	、正月と成人式と問い旧福江市の成
井持浦教会ルルド前の市道	帰省し、家計の負担が るため、一月三日、 で 時代の開催する。また、 日の開催に万全を助す で り た結果、来年から一月 日の開催に万全を助す

押し車や、こ

いては、

るのは十

と協議し、工法、計画教会関係者及び地区住

 \supset

用者が



設置期間

平成21年6月~平成25年2月

江空港: 網整 記航空 備 対 路 線及び関連施設 策特別委員 会

交通

福

査。

委員長 古川雄一議員



副委員長 片峰 亨議員

委委委委委委委 員員員員員員員員 向 宗 原 草 谷 野 川 荒尾 清 神之浦伊佐男議! Ш 久義議員 久幸議 安男議 正登議 藤人議 等 議 計9名 員 員 員 員 員 員

委委委委委委委

員員員員員員員員

林江

Ш

「美津子議員 忠男議

計9名

員

岩雄 恵三議

議

員員員員

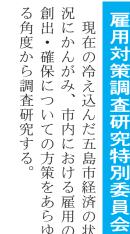
菊椿木相三谷山口良浦

利光議員

尚 直

彦議 人議

員員



ŀФ \mathcal{O} 状







副委員長 村岡末男議員

	主な事業は次のとおりで 子ども市議会開催 の子ども読会を開催しま の子ども議会を開催しま の子ども議会を開催しま	:を、 月 5行各 (「っ常 第
h福江市で開催された子ども議会の様子	催 である。 である。 である。 である。 である。 何 日時は平成二十一年八 う。 日時は平成二十一年八 十分から開会予定である。	11回)の審査

に取り組む予算百六十四 飲食業者と連携して、 査、 殖プラン検討会や事例調 費二千二百五十万円、養 る二基の機能回復を事業 凍庫四基のうち、老朽化 財源として、 め、 待されている五島マグ 万円などが計上された。 殖マグロの地元消費拡大 査費千百八十万円、 により能力が半減してい 制の整備のため奈留町冷 くり基金及び県補助金 を積み立てていたまちづ 化·生活対策臨時交付金 補正予算に伴う地域活 養殖基地化を推進するた 連産業への波及効果が期 漁 五島マグロ養殖 2千谿万9千円 国の二十年度第二 養殖候補地の漁場調 業者の所得向上や関 |地化推進事業 餌料供給体 地 元 養 を 性 次 \Box

中書磁資料作品の表 市式の主義の資料作品のた 市式の主義である。 市式の主義である 日本の 日本のの主義である 日本のの主義である 日本のの主義である 日本のの主義である 日本のの主義である 日本のの主義である 日本のの主義である 日本のの主義である 日本のの主義である 日本のの 日本のの	
--	--



五島家畜市場子牛価格補てん事業

2千万円

Ļ 生産農家の経営努力を促 格補償をすることにより、 定基準を満たす子牛に価 が家畜市場に出荷した一 ことから、市内畜産農家 影響は、 業産出額一位で全体の約 市にとっての肉用牛は農 経営を圧迫しており、 格の低迷は、 衰退させるおそれがある 三〇%を占め、 景気後退による子牛価 基準を満たす優良子 地域農業全体を 畜産農家の 畜産業の 本

る。 やなげるための事業であ のなげるための事業であ しながるための手業であ

五島市議会だより-第20号-

三回福寺会が、去る	
主な事業は次のとおりで総額一億三千四百三十五万のの事業、市単独事業とし一日のみ開催され、地域の第三回臨時会が、去る平	うである。 一子成二十一年五月十五日のである。
業務委託事業物産振興販路開拓	ている。
域の特性を活か	加入足進事業
水産業等の産業	千绺万5千円
するとともに販	「心のふるさと甘
を展開して	市外にいる親戚知人等を業を広く市民に居知し
により、五島古	介頂き、ふるさと市
向上や観光客	の加入促進を図るた
くことから、大手百貨吉、口の拡大にも繋がってい	問し、 を
ーパー、食品知	心のふるさと市民」
活動を定	内容の説明及び市外
淡会開崔や勿産規販路開拓を主	収集を行うものである。居住する親戚知人の情報
へと発展させていく	十一年度の新規雇
見 言 引 音 は 一 午 度	十五人であり、雇
期間を九ヵ雇用者は一	ヵ月としている
は「五島の観光と	



不法投棄物撤去及び監視パトロール事業 遊休農地解消対策 **椿植栽管理)事業** パトロールを強 月としている。 指導員等による 投棄物が次第に 雇用期間を六ヵ 者は十人であり、 年度の新規雇用 美化を図る事業 を撤去し、環境 増加傾向の中で、 である。二十一 不法投棄物ごみ 化するとともに、 39万6千円 山中等の不法 480万円

0	者は二人であり、雇	。二十一年度の新規	域で開催するもので	プログラムを企画し	びスポーツ教室等多	即した健康体力づく	するため、住民ニー	備と仕組みづくりを	しむことのできる環	的に応じてスポーツ	れの年齢、技術、興	期にいたるまで、そ	の誰もが幼少期から	の創造を図るため	活力ある健全な地域	民の健康の保持増	171万3千円	推進事業	E		は六ヵ月である。	は二人であり、雇用期間	二十一年度の新規雇用者	保全を図るものである。	し、交通の安全及び環境	市道沿線の草木を伐採	2千22万4千円	计道環境整价事業	니그 스페 피전노크 첫미스페 매우 심지
			1.11												111	,		N 44		MR.		-							

	発行事業
--	-------------

雇



SOY INK SOY INK . この広報紙は大豆油インキを使用しています。